

電気バスを導入し、尾瀬の自然を守ります

2018年7月30日

株式会社みちのりホールディングス
会津乗合自動車株式会社

株式会社みちのりホールディングス（東京都千代田区 代表取締役グループCEO：松本順 以下、みちのりHD）は、会津乗合自動車株式会社（福島県会津若松市 代表取締役社長：佐藤俊材 以下、会津バス）を通じて尾瀬国立公園内のシャトルバス3台を全て電気バスに切り替えることを決定しました。本件は国土交通省「平成30年度地域交通グリーン化事業」に認定され、低公害車普及促進対策費補助金が交付されます。尚、電気バスへの切り替えについては福島県や桧枝岐村との協議・協力を得て進めてまいりました。

今回導入の路線は、尾瀬国立公園内の尾瀬御池～尾瀬沼山峠間です。同区間は会津バスのシャトルバスが旅客運送を担ってまいりましたが、今回、これまでのディーゼル車両を電気バスに切り換えることで走行中のCO₂および排出ガスを大幅に低減します。「クリーンで先進的な尾瀬」のイメージ形成に寄与し、観光や地域創生への効果も視野に入れた取り組みであります。

尚、車両はBYD製であり、同社の中型電気バス車両の導入は国内初です。また、一般営業路線への電気バスの導入も福島県内初です。

■導入電気バスの概要

- 【導入車両】 BYD製 中型ノンステップ電気バス 3台
- ・航続距離：180km（フル充電時）
 - ・バッテリー容量：217kwh



（写真は欧州向けであり、仕様・デザイン等は導入車両と異なります）

【導入エリア】

電気バスの導入路線は、福島方面からのアクセスルートの終端部分です。福島方面からの一般車は環境保護のため尾瀬御池の駐車場で止められ、尾瀬御池－尾瀬沼山間はシャトルバスでの送客となります。この区間のシャトルバスを電気バス化いたします。運行は現在と同様、1日8往復×3台の24往復/日であり、1台あたりは約160km/日の走行距離となりますが、今回導入の電気バスは180kmの航続距離を有しております。

尚、本路線はシーズン中（5月中旬～10月下旬）のみ運行いたしますので、導入車両の尾瀬でのデビューは2019年5月を予定しています。それ以外の期間（11月上旬～5月上旬）は、会津若松市内の中心路線である松長西若松線（会津若松駅～松長団地～西若松）で運行します。こちらでは尾瀬に先立ち2019年1月からの運行を予定しています。



*尾瀬国立公園：2007年8月30日指定 面積：37,200ha 福島県、栃木県、群馬県、新潟県
2007年に日光国立公園から尾瀬地域を分割し会津駒ヶ岳、田代山、帝釈山などを編入して、29番目の国立公園として指定された。また、尾瀬は、自然保護活動や植生回復、ゴミ持ち帰り運動、マイカー規制など取り組みが行われ、我が国の「自然保護の原点」とも呼ばれています。

(環境省 尾瀬国立公園HPより)

■みちのりHD・みちのりグループの概要

みちのりHDは、交通・観光事業会社の持株会社として、株式会社経営共創基盤の100%出資により設立されました。傘下には、岩手県北バス、福島交通、会津バス、関東自動車、東野交通、茨城交通、日立電鉄交通サービス、湘南モノレール、みちのりトラベルジャパンの9つの交通・観光事業グループを有しております。みちのりHDとこれら事業会社によってみちのりグループを形成しております。

みちのりHD設立： 2009年3月16日

みちのりHD代表取締役グループCEO： 松本 順

グループの主な事業： バス事業(乗合・高速・貸切)、鉄道事業、
観光事業(旅行代理店・ホテル)、車両整備事業、不動産事業

保有バス車両数： 約2,400台 (みちのりグループ合計)

従業員数： 約4,900名 (みちのりグループ合計)

HPアドレス： <http://www.michinori.co.jp>

■会津バスの概要

会津バスは、会津若松市、喜多方市、南会津地域などを中心にバス事業を、会津若松市、喜多方市でタクシー事業を展開し、2013年8月にみちのりグループに参画しました。子会社に会津トラベルサービス(旅行事業)、あいづスタッフ(人材派遣業)などを有する。

創立： 1943年7月31日

代表取締役社長： 佐藤 俊材

グループの主な事業： バス事業(乗合・高速・貸切)、
タクシー事業、旅行事業、人材派遣業

保有車両数： バス約200台 タクシー約100台

従業員数： 約440名

HPアドレス： <https://www.aizubus.com/>

<お問い合わせ先>

株式会社みちのりホールディングス 工代(ください) TEL:03-6250-1075

会津乗合自動車株式会社 安部(あべ) TEL:0242-22-5560